



幼児のリズム指導

お茶の水女子
大學 教授

戸 倉 ハ ル

これは、もうかなりの昔のことですが、或る年の春のことでした。私の學校の體育科を志願してきた、たくさん
の女學生のなかにこんな生徒がいました。

いつの年でもそうでありますが、體育科志願者は、將來、
よき體育の指導者となろうともえるような希望を抱いて、入
學をきそう人たちだけに、誰も彼も、ひと目みただけで、普
通の女學生たちとは、ちよつと比較にならない、すぐれた體
格にめぐまれた人たちがかりであります。身長五尺五寸とい
えば、まず、それだけでも、日本の女性にはめずらしいので
ありますがその上に、よく發達した筋肉が恰好に調和し、が
つしりと均整のとれた、まれにみる美しい體格でありまし
た。さらにこの生徒は、いならぶ志願者のだれよりも、美貌
のもちぬしでもあつたのです。すぐれた體格と、美しい容姿
私は長い教育者生活をふりかえつてみても、こんな女性を、
あまり大勢思いたすことはできません。

○ 考査は、委員の前での口答試問を終つて、いよいよ實地に

いろいろな動作をあたえて、いろいろの角度から彼女たちの適
性を観るといふことになりました。

さて、その順番は、この志願者にもまわつてきました。と
ころが、ここで私たちは、まつたく意外な事實をみたのであ
ります。そして、彼女に對するあのすばらしかつた、第一印
象は、あやうくうちこわされてしまいそうになりました。と
申しますのは、この女學生が、一たん腰かけをはなれて、直
立の姿勢からそのからだを動的な場に置きかえさせられると
どうでしょう。その動作の何とぎこちなく、安定のないから
だのこなし方など、およそ普通の女學生の、だれもが容易に
やつてのける平凡な動作にさえ、この志願者は苦心をしまし
た。あまりのことに、私はこの女學生をそばによんで、いろ
いろと彼女の經歷をたずねてみましたが、この女學生の語る
ところは、大要つぎのようなことでありました。

○ 小學校の六ヶ年は、別に他の子供たちとちがつたこともな
かつたようではありますが、この生徒にとつて不幸だつたのは

その後、四年間の女學校生活であつたようでありませぬ。

この期間、この生徒の體育をうけもつた方は、始終男の先生であつて、體操といへば、徒手體操や器械體操がその全部だつたらしく、遂に一回も音楽に合せて行進するとか、ダンスを習うとか、律動的な指導をしてもらうとか、そういうことがなかつたのだとのでありませぬ。

これは少し極端な例であるかも知れませんが、私はこの話にも驚かされました。

その後、この生徒は、幸、入學を許されましたので、私が直接その指導にあたることになりました。このように相當のハンデキャップはありましたが、私はこの體格と、この聰明さが、短時間のうちに、必ずこれを克服してくれるばかりでなく、きつと、よい指導者になつてくれることも、大いに期待したのであります。

いよいよ四月、彼女も體育科の一年生となりました。何度も申しましたように、あの體その上學科の成績も、たちまち群を抜いていきました。しかしどうしたものか彼女のなみなみならぬ努力、精進も、私が指導を擔當した方面では、おいそれと、よい成績をみせてまいりませんでした。學友が何の雜作もなく學んでゆけることが、彼女にとつては、なかなかの苦勞でした。彼女は時々私に述懐して——私は他の方が苦心なさるといふ、外國語その他の學科は差程骨折ることはありませんが、先生の時間の勉強には、すいぶん苦勞いたします——とそういつていました。

しかし彼女は、さらに今一つ、實に強固な意志に恵まれていました。そして、その意志は、旺盛な研究熱と結びあつてきましたので、この越え難い難關を一步一步と、克服して行つたのであります。その努力は、まつたく涙ぐましい。學友はみんなその努力に、心からの敬意を拂うほどでありました。二年、三年いよいよ卒業の頃には、その精進の効果も大いにあわれて、もうすつかり一人前の體育指導者として誰の前に出ても、はずかしくないだけになつてきました。これはまつたくその研究と、努力のたまものであつて、到底常人の出來るところではなかつたと思われませぬ。

さて、すいぶん長くなりましたが、私の出あつたこの一つの珍らしい經驗は、いろいろのことを私に語り、いろいろな問題を私になげかけ、いろいろなことを私に教えてくれたのです。

まず、その一つは、この女學生が、あんなすぐれた體をもち、あんなにゆたかな理性にめぐまれていながら、多少の困難はあるとしても、クラスの誰もが差程の努力を要しなかつたあの程度の身體の律動的な表現に、あんなにまで大きな努力をなせなければならなかつたという疑問であります。

たしかな根據の上にたつて、このお話をするような資料を持合せていませんが、それがその女學生の素質の問題でないことは、たしかであると思うのであります。卒業の頃には、立派な指導者となれたという一事が、充分にそれを證據だて

ると思ひます。それではどこにその原因をもとめるか、我が田に水を引くというそしりをまぬがれないかもしれません。私はどうしても過去の女學校、あるいは小學校、ないしは更にそれ以前の、こうした方面の教育ということに、關連をもつと思ふのであります。せめて彼女の女學校時代に、このリズム教育に對する考慮のある體育が行われていましたなら、こんなことはなかつただろうと思ひます、もちろん、これ以前の教育にそうした配慮がありましたなら、ますます結構なことでありまして、ことはもつともつと容易にはこんでいたでしょう。

○
こう考へてくると、この一つの事實は、私にとつて、次のようなよい示唆を與えてくれるのであります。

まだ適確に、私たちはそれを捉へることは出来ませんが、リズム教育にも必ず最も効果のあがる時期、効果のあげ易い適期というものがあるのではないかと、いうことです、彼女の場合について考へましても、その芽の伸びようとする時期にこの教育について、適當な指導がななされていきましたら、もつと容易に行けたのではないか、つまり彼女の場合はその適期を、少しとりにがしかけていてリズム教育に對する陶治性をよびかえす爲に、あんな努力が要求されたと結論できないのでしようか、幸に、彼女には常人の眞似の出来ない努力、精進がありました、これは萬人の希むがたいものでしよう、私たちの體育指導者にとつては、すべての人が容易に

學び、容易に到り得る、易行のコースを見出しておかなければなりません。そのためには、どうしても、比較的早期に、この教育をはじめることだと思ふのであります、このことについては、音樂に於ける早期指導、すなはち、リズムの教育の必要をさげられる所以であると思ひます。

○
それでは、どんなにして、子供にリズムの指導をしたらいいのでしようか、まずよい音樂を、特にリズムミカルなものを選んできかせ、そして楽しい雰圍氣をつくり出すことが大切であります。そうすると子供は、その音樂によつて、ちつとしていられないで、何か動こうとする、ラヂオをきいている子供達がそのリズムに合せて、わけもなく手や足や身體を動かしてよろこんでいる姿を、皆様はよく經驗されることと思ひます。

そこで「おてゝつないて」「タやけ小やけ」「むすんでひらいて」「はとぼつぼ」「いもむしごろごろ」「かごめかごめ」「おにごっこ」「かくれんぼ」のような、子供の生活の中にある音樂を選び、この中から動きを見出していきなうと思ひます。この中、例えば「タやけ小やけ」の場合でありますと、これをきかせている中に、子供が一小節に四つの動きをした時には、それをとつさにとらえて拍手を四つ加えさせてみます。又一小節に二つの動きをした時には、二つの拍手をさせてみます。

こゝに子供たちは、自分たちで器樂したことに、どんな喜

びを感じることでありましょう。私共は子供の音楽に對する動きを、鋭敏にとらえなければなりません。こうして音楽に興味を持たせると、もう子供たちはちつとしてはいません。手や足を動かして、更に何かを表現したくたつてまいります。

例えば、

夕やけ小やけで 日がくれて
やまのおてらの かねがなる

おてゝつないで みなかえる

からすといつしよに かえりましょ。

それではこの場合、どこを子供がすぐ表現するでしよか、多分、最後の「からすといつしよにかえりましょ」の所が子供たちには一番やつてみたい所であり、又樂に表現の出来る所でありましょう。そこで、さあ、からすになつてみましょうと、云えば子供達は手を左右にあけて、からすになるでしよう。そこで指導者は、一曲を通してからすで歩かせてみます。又は一方に拍手させて、他方からすで歩かせてみる中に、自然に子供たちは曲のリズムが身についてくるのではないでしよか。一體私共は、子供がすぐ歌えると思うところにまぢがいがあります。子供たちには、そう簡單にはうたえるものではありません。正しくうたうと云うことは、非常にむづかしいことです、ですから子供たちにとつてその曲の一番うたい易い所を見出して、そこを何回かうたわせます。例えば「からすといつしよにかえりましょ」の所だとしま

すと、こゝを何回もくりかえす中に、子供たちは正しくうたえると云う、安心と確信とを持つようになります。それを中心としてだんだんと一曲を正しくうたえるように導いていきます。

○

こうして歌の指導をしてまいりますと、こんどは自然この題材の中で、何か表現したい所を子供が見つけることであります。この「夕やけ小やけ」の場合でありますならば、恐らく「おてゝつないでみなかえる」のところがやりたいところと想像されます。このところを樂器をそえたり、歌をくりかえしている時、子供は二人づゝ手をつないで歩いたり、スキップしたり、兩手を上げて、からすになつた氣持で、楽しく遊ぶことであります。つまりは子供たちに教えるのではなくて、子供がすでに持つてゐるものを、たくみに引出していくところに、すべてのリズムの指導があると思うのであります。

何事に於いても第一歩が大切であります。その出發に於いて誤つたことが、それをとりもどすまでどれ程苦勞するかは、初めにあげました例を見にも明らかであります。そして總て物事にはその時期というものがあつて、時期をはづされた子供は不幸であります。その時期をはづさない様に、云いかえますと、その時期を素早くとらえて、指導していくことが、能率の問題をもふくめて、重要なことなのであります。(つゞく)